



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)9月5日号

No.1868

目次

■ ロシア・サマラ州貿易投資セミナー	1
■ 統計速報	8
2021年1～7月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／8	
2021年1～7月の日ロ貿易／9	
■ トピックス	12
日本外務省が対ロシア関連予算を減額／12	
経済産業省がロシアと脱炭素化分野で共同声明／12	
国際協力銀行とNOVATEKが戦略的協定締結／12	
商船三井が浮体式LNG貯蔵設備案件に参画／12	
NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース／13	

ロシア・サマラ州貿易投資セミナー

はじめに

2021年8月24日(火)、ロシアNIS貿易会では、サマラ州政府と共同でオンラインイベント「ロシア・サマラ州貿易投資セミナー」を開催した(在日ロシア連邦通商代表部が後援)。サマラ州はモスクワの南東約1,000km、ヴォルガ川沿岸に位置する地域である。サマラ州の人口は321万人(2021年初)、中核都市は州都のサマラ市(人口114万人、ロシア第6位)とトリヤッチ市(人口69万人、第19位)だ。また、サマラ州はロシア最大の自動車メーカーであるAvtoVAZ(ブランドはLADA)を擁し、ロシアの自動車産業の一大中心地だ。そのため日産自動車をはじめとする、日系の自動車関連メーカーの進出事例も複数あり、日本とも関係の深い地域となっている。

本セミナーでは、サマラ州政府による同州の経済・投資環境の説明、サマラ州の企業や同州に進出している複数の外資系企業の報告及び、外資系企業との協力や外資プロジェクトのベストプラクティスの紹介が行われた。本フォーラムには、ピョートル・パヴレンコ・在日ロシア連邦通商代表部首席代表、ナターリア・カーチナ・サマラ州副首相、柴田洋二・日本ユーラシア協会常任理事・経済交流委員会委員長をはじめ、日ロ双方から約74名(日本側から約42名、ロシア側から約32名)が参加した。本号では、その報告要旨をご紹介しますこととしたい。